

専門部会の設置について(委員会後修正)

十日町市建設部建設課

1. 委員会の課題

水利使用の許可期限を2年後に控えているが、その動向が更新時に大きく影響する5年目の試験放流方法は、いまだ決定されていない。また、更新に当たっては今後の信濃川に必要な流量についても検討していく必要がある。
→ 詳細な議論を重ねる必要があるが、限られた期間内にすべての委員が参加可能な場を相当数設けることは困難。

2. 課題解決への方策

- ① 専門部会を設置し、少人数で検討する会議を重ねる。
- ② 専門部会の検討経過と結果をあり方検討委員会で報告、了解いただき、委員会としての提案とする。

3. 設置目的

宮中取水ダムにおける5年目の試験放流方法についての検討を行うとともに、今後の信濃川のあるべき姿について、具体的な議論を行う。

4. 部会員の構成

団体	位置付け
商工会議所※1	検討委員会委員長として
中魚沼漁業協同組合※1	利害関係者として
信濃川をよみがえらせる会※1	市民組織の代表として
JR東日本(株)※1 (信濃川発電所業務改善事務所)	水利権者として
十日町市(建設部)	利害関係者として
アドバイザー※2 大熊 孝 先生	専門的分野からの検討委員会のアドバイザー

※1 部会員の選考については各団体から委員を推薦していただきたい。(あり方委員と同じで方でも良いと考える。)

※2 その他、専門部会において必要なアドバイザーを招集できる。

5. 想定スケジュール

時期	開催会議等
7月上旬	・信濃川のあり方検討委員会開催、専門部会設置 ～ 月1回を目途に専門部会開催 ～
10月中旬	・宮中取水ダム試験放流検証委員会中間報告(未確認) ・信濃川あり方検討委員会開催(検証委員会中間報告及び第1～3回専門部会報告) ～ 月1回を目途に専門部会開催 ～
12月中旬	・信濃川あり方検討委員会開催(サケの結果報告および第4～5回専門部会報告) ・市民協議会開催(あり方検討委員会報告、環境共生基金充当事業協議?)
1月	・宮中取水ダム試験放流検証委員会(予想) ・信濃川中流域水環境改善検討協議会(予想)
2月	・専門部会、あり方検討委員会

第1回目の内容
議論の進め方、各委員の考え方など
2回目以降 放流方法等具体的事項